

# 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

## 医学系研究科（博士課程）

### 【1】求める学生像

医学系研究科は、医学・医療の専門分野において、社会の要請に応えうる研究者及び高度専門職者を育成し、学術研究を遂行することにより、医学・医療の発展と地域包括医療（地域社会及び各種の医療関係者が連携し、一丸となって実践する医療）の向上に寄与することを目指します。各専攻の求める学生像は以下の通りです。

### ■ 医科学専攻

医学・医療の領域において、自立して独創的研究活動を遂行するために必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識と優れた技術を有し、教育・研究・医療の各分野で指導的役割を担う人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 医学・歯学・獣医学・薬学の6年制学部卒業者で、医学・医療の分野で、研究者あるいは高度専門職業人として社会に貢献したいと考える人
- ② 医学系修士課程あるいはその他の修士課程修了者で、医学系研究科博士課程と合わせて研究者を志す人
- ③ 学習と研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
- ④ 博士課程での教育プログラムを学ぶのに必要な学力・能力を備えた人

### 【2】入学者選抜の基本方針

医学系研究科の教育・研究理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

#### 一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学院受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、英文読解能力等を問う筆記試験、口頭試問及び成績証明書によって評価します。また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質、さらに、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験と志願理由書によって評価します。

#### 社会人特別入試

大学院受験資格を有し、かつ官公庁、教育機関、病院、企業等の現業に従事し、入学後もその身分を有する者を対象とした社会人特別入試を行います。本入試では、大学院で学

習するために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識と明確な問題意識や研究課題を有しているかを、英文読解能力等を問う筆記試験、口頭試問、業績報告書及び成績証明書によって評価します。また、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験と志願理由書によって評価します。

### 医学系研究科（博士課程）で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

| 観点          | 入学後に必要な能力や適性等                | 評価方法                                       | 入試方法            | 対象専攻 |
|-------------|------------------------------|--|-----------------|------|
| 知識・理解・思考・判断 | 大学院で学ぶために必要な汎用的な基礎学力及び専門的な知識 | 英文読解能力等を問う筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。 | 一般入試<br>社会人特別入試 | 全専攻  |
|             |                              | 成績証明書によって、最終出身学校での学業成績、学習態度を評価します。         | 一般入試<br>社会人特別入試 | 全専攻  |
|             | 専門分野における学習能力や研究遂行能力          | 口頭試問によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。  | 一般入試<br>社会人特別入試 | 全専攻  |
|             |                              | 業績報告書によって、これまでの研究実績及び研究内容を評価します。           | 社会人特別入試         | 全専攻  |
| 興味・関心・態度・意欲 | 志望専攻で学ぶための明確な志望動機や入学後の意欲     | 面接試験と志願理由書によって、志望専攻で学ぶ動機、意欲、積極性等を評価します。※   | 一般入試<br>社会人特別入試 | 全専攻  |

※学力・能力のみならず意欲・適性等を重視した総合評価により選抜を行います。

それぞれの入試において、志望の動機、学習意欲、積極性、協調性やコミュニケーション能力等について、対話・口述を通して評価し、将来、研究者あるいは専門職者になるために十分な適性を備えているかを判断するための面接試験を行っています。特に、面接試験は、総合判定の重要な資料とするとともに、評価が低い場合は不合格とすることがあります。